

2024 年度「PLIJ STEAM・探究グランプリ」受賞者を決定

2025 年 3 月 6 日

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)は、内閣府、文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所の後援の下、「PLIJ STEAM・探究グランプリ」の選定を行っていましたが、このたび受賞者を決定し、表彰式を 2025 年 3 月 17 日(月)に開催いたします。

1. 2024 年度受賞者

2024 年度「PLIJ STEAM・探究グランプリ」の選定にあたり、昨10月～12 月の募集に、創設初年度にも拘わらず、全国から81 件の応募がありました。学校のSTEAMや探究型の新たな学びを産官学で支える取組み、企業・大学などが中心になって行う学びなど「社会全体で新たな学びを支える」という表彰の趣旨に沿う取組みが寄せられました。有識者の選考委員(委員長:遠藤信博 NEC特別顧問)による厳正な選考の結果、10件のグランプリと2件の特別賞が決定いたしました。特別賞は、選考委員会のイニシャティブで、STEAM・探究の学びの推進に格別の貢献があった個人または団体を対象として選定したものです。

グランプリ 10 件、特別賞2件の一覧は、以下のとおりです。取組みの概要については、別添 1 をご参照ください。グランプリの受賞者は、高等学校3、企業関係4、大学 2、教育委員会1となっております。

■ グランプリ

- AFK 研究所合同会社および協力機関「ロボ化石製作・実験を主体にした STEAM 教育」
- 大分県教育委員会および協力機関「小学生から大学生を通じた STEAM 教育」
- 金沢大学教学マネジメントセンターおよび協力機関「文理融合・STEAM 教育による人材育成エコシステム」
- 株式会社環境公害研究センターおよび協力機関「環境 DNA 解析を用いた郷土の川に棲む魚類調査」
- 群馬県立高崎高等学校および協力機関「産学官連携が支える生徒主体の STEAM 型課題研究」
- TSK グループ基金 さんいん未来・縁人／地域・教育魅力化プラットフォームおよび協力機関
「アントレプレナーやリーダー育成によるしまね未来共創」
- 東北大学「科学者の卵養成講座」運営委員会および協力機関「東北大学「科学者の卵養成講座」
- 新潟県立中条高等学校および協力機関「産学官連携を軸とする六花プランの実践」
- 兵庫県立兵庫高等学校および協力機関「STEAM 教育と実社会との往還の学び」
- 株式会社堀場製作所・グループ会社および協力機関「「はかる」をテーマにした体験型授業」

■ 特別賞

- NPO 法人アスクネット「キャリア教育の発展モデルの展開」
- 平田オリザ殿「演劇教育普及の先駆的活動」

2. 表彰式及び報告会

別添 2 のフライヤーより参加申し込みをしてください。

- 表彰式: 2025年3月17日(月) 15:00~17:00 の前半
- 報告会(パート1): 2025年3月17日(月)15:00~17:00 の後半(表彰式に続いて行います)
- 報告会(パート2): 2025年4月24日(木)15:00~17:00

(注)3月17日は会場参加およびオンラインのハイブリッドですが、4月24日はオンラインのみになります。ご注意ください。

表彰式及び報告会(パート1)の場所 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区駒場4-6-1)
コンベンションホール(An棟 2F)

取材対応について 本件の取材を希望される方は、以下の連絡先にご連絡ください。

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)事務局

担当:中西・井畑・梅森

電話:03-5452-6621(代表) メール:info@plij.or.jp

法人ホームページ:<https://plij.or.jp/>

(別添 1)受賞対象活動の概要

■ グランプリ

● AFK 研究所合同会社および協力機関「ロボ化石製作・実験を主体にした STEAM 教育」

AFK 研究所合同会社は、自社の持つノウハウを生かし、STEAM 教育を社会貢献として行っている。水棲古生物を模倣したロボット(ロボ化石)を製作するプロセスの中で生物学と水中物理の先端研究が掛け合わされ、未知の謎に STEAM 的プロセスを総動員して迫っていくワクワク感も体感できる。また、自治体や博物館、企業団体などと協働し、さらに公開 SNS にて各分野の専門家とつながる工夫をしている。斬新で独自性が強く、さらなる広がりによる生徒の変容に期待が膨らむ。

● 大分県教育委員会および協力機関「小学生から大学生を通じた STEAM 教育」

大分県は、県内に学ぶ小学生から大学生まで学齢を問わず、STEAM の学びを体験できる環境が整いつつある。これは、中長期の教育政策を重視する大分県の旗振りに呼応する小中高の学校、学校外の科学体験スペース及び国立大学の関係者の目標の共有の賜物である。小・中学生には「体験型子ども博物館 O-Labo」が、高校生向けには県の STEAM 推進事業にて、また大学生には大分大学 STEAM 教育推進センターが STEAM に関する各種講座、イベントを展開している。

● 金沢大学教学マネジメントセンターおよび協力機関「文理融合・STEAM 教育による人材育成エコシステム」

金沢大学では「融合学域」の設置と「先導 STEAM 人材育成プログラム(KU-STEAM)」の開設を通して文理融合・STEAM 教育を推進、「高大院接続型カリキュラム」、「学修成果の可視化」、「個別最適化学修支援」における先駆的モデルをエッジとして、その取組を学内外に波及させている。本活動に参画した学生数は年々増加し、令和6年度には7,000 名を超え、「学校教育」から「就業」へと繋がる人材育成のための協働型エコシステム構築のスケール感のあるモデルとなっている。

● 株式会社環境公害研究センターおよび協力機関「環境 DNA 解析を用いた郷土の川に棲む魚類調査」

環境公害研究センターは金沢市に本拠を置く、環境測定等を中心的業務とする会社である。同社と石川県立大学および七尾高等学校を中心とする高校協議会が協働で行っている。具体的には、高校生へ環境 DNA 解析の技術指導を行った上で、生物調査の体験学習を高校生が行ない、解析結果をまとめ、石川県内の河川・湖沼等に棲息する魚類を継続的に調査・把握する学術的にも意義がある活動である。高校生の学びをこのように意義ある外部との協働に昇華させた取り組みである。

● 群馬県立高崎高等学校および協力機関「産学官連携が支える生徒主体の STEAM 型課題研究」

高崎高校は 2002 年度から SSH 指定を受け、「伝統と革新の融合」を目指し、特色ある教育活動を展開。『STEAM 型課題研究』は、生徒の興味を起点に課題設定・解決を行い、創造的なアウトプットを楽しむものであり、複数教科の考え方を統合した『クロスカリキュラム』の推進と併せ、知識と技能を実生活に活用する視点に高い評価が得られた。企業エンジニアや専門家との連携や、オンラインツールやデジタル機器を活用した学びの環境整備にも尽力されている。

● **TSK グループ基金 さんいん未来・縁人／地域・教育魅力化プラットフォームおよび協力機関 「アントレプレナーやリーダー育成によるしまね未来共創」**

山陰中央テレビ(TSK)グループ8社が設立した社会貢献活動を展開する基金「さんいん未来・縁人」と、島根県の高校魅力化を牽引する教育系団体「地域・教育魅力化プラットフォーム」は、産業界や教育界、行政、メディアによる連携を創り出し、若者の高度な探究・プロジェクト活動を応援している。「やってみたいを解き放て」をキャッチコピーとする「しまね未来共創チャレンジ」では、島根県の高校生に対し最大10万円の活動支援金と若手社会人による伴走やアドバイスが提供される。

● **東北大学「科学者の卵養成講座」運営委員会および協力機関 「東北大学「科学者の卵養成講座」**

東北大学「科学者の卵養成講座」は、高校生が先端研究を実体験し領域横断的な「科学の眼」を育成するプログラム。2009年度から年100名程度の高校生を東北、北関東、東京地域より受入。留学生や大学院生メンターと交流しながら研究を体験し、一部は国際会議等での成果発表にも。特筆すべき点は女子受講生が多いことで、2023年度からは小中学生対象のジュニアコースも開始。地域教育委員会とのコンソーシアム構築で地域全体を活性化している。

● **新潟県立中条高等学校および協力機関 「産学官連携を軸とする六花プランの実践」**

中条高校は、新潟県北部の人口2万7千人の胎内市にあって、唯一の県立高校。精力的に新しい取り組みにチャレンジし、学校が活性化する姿に地域からの信頼と期待を集めつつある。地域企業、地元大学、地域の小中学校などとの多様な連携は、探究学習の深耕と地域貢献により生徒に成長の実感と自己肯定感を与えている。少子高齢化の時代において、高等学校を中核とする地域での濃密な学びの連携は、地域の高校のモデルであり、また、地域創成に繋がるコンセプトでもある。

● **兵庫県立兵庫高等学校および協力機関 「STEAM 教育と実社会との往還の学び」**

兵庫高校は、学校での学びと実社会とが乖離しないよう、学校での知の学びとリアルな社会との間の「往還の学び」を重視している。このため「STEAM 教育推進委員会」を設置し、リアル社会を構成する大学・企業・地方自治体など多種多様な外部リソースと繋がって、PBLやハンズオンのカリキュラムの導入など展開してきた。「往還の学び」を実現できているのは、外部とのネットワークを大事にしてきた長年のスクールマネジメントによるところが大きく、各地の高校の見学が絶えない。

● **株式会社堀場製作所・グループ会社および協力機関 「「はかる」をテーマにした体験型授業」**

堀場製作所は京都に本社を置く、分析・計測機器の世界的なリーディング・カンパニーである。1994年以來30年にわたり主に小学生を対象に実施している「はかる」体験や様々な実験を取り入れた出前授業やイベントは生徒にワクワクを届ける人気プログラムで、2024年には1,500名を超える生徒が参加している。企業の本業／エッジを活かした活動という点と併せ、「企業の教育への参加」のモデルとして、多くの企業にとって参考となるグッド・プラクティスである。

■ 特別賞

● NPO 法人アスクネット

アスクネット(本拠地名古屋市)は、学校と地域をつなぐキャリア教育を活動の中心に据えた NPO 法人。地域で活躍する市民による学校での授業、キャリア教育の効果的なプログラム策定やインターンシップのプログラム設計などのサポートを行う。2023 年度までの実績では、中核的事業である「市民講師ナビ事業」では、インターンシップ 16 校、生徒数 2572 名、中学校から大学までの社会人講座実施は 25 校、4,763 名に及んでいる。外部との連携では、愛知県、名古屋市、民間企業では、アイシングループと協力協創の関係にある。2015 年、キャリア教育アワード経済産業大臣賞を受賞。

● 平田オリザ殿

平田オリザ氏は、元来劇団を主宰する生粋の演劇人であり、数々の作品賞に輝く。その一方、演劇の有する教育的効果に着目した同氏は、この 30 年来、演劇的手法を用いたワークショップを各地の学校と連携して実践に努められている。同氏は、演劇の持つ教育的効果について、①他者理解のコミュニケーション教育、②シナリオ構成を通じた創造性教育、③真のリーダーシップ醸成につながるなど昨今の探究型の学びとの親和性が高く、「主体的、対話的な学び」の実現に資するとされている。同氏の長年にわたる先駆的活動は、STEAM/探究の学びの時代にあって、一層重視されるべき活動である。

(別添 2) フライヤー1(3月17日)



PLIJ STEAM・探究グランプリ 表彰式 第13回 STEAM人材育成研究会

2025
3/17 Mon
15:00~17:00



PLIJでは、STEAM教育や探究型学習の実践に、社会総出で協力することが重要と考え、2024年度から優れた活動を表彰する制度を、関係府省及び関係経済団体に後援をいただき創設いたしました。第一回目となる2024年度の表彰式を来たる3月17日に行います。表彰式に続いて、受賞者から活動についての報告をいただく二部構成としております。

表彰式

(15:00~15:40 目途)

【司会】のどころ／吉本興業株式会社

- ◆主催者挨拶 浦嶋将年／PLIJ理事長
- ◆御祝いの言葉 野依良治様／名古屋大学特別教授
- ◆選考結果報告 遠藤信博様／NEC特別顧問（表彰選考委員会委員長）
- ◆記念演奏 東京都立国立高等学校 弦楽合奏部 有志
- ◆表彰

受賞者の報告

(15:50~17:00 目途)

【司会】年吉 洋／東京大学生産技術研究所長

〈第13回STEAM人材育成研究会として行います。〉

- グランプリ ◆群馬県立高崎高等学校
- ◆金沢大学教学マネジメントセンター
- ◆堀場製作所
- 特別賞 ◆平田オリザ様

※受賞者12組のうち、この日は4組の受賞者の方にご報告いただきます。

主催

一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

協力

東京大学生産技術研究所

表彰後援

内閣府 文部科学省 経済産業省 日本経済団体連合会 経済同友会 日本商工会議所

開催会場 東京大学生産技術研究所 An棟 2F コンベンションホール

お申込み方法

QRコード、または、下記URLから登録サイトに入っただき、現地参加か、ウェビナー視聴かを選択して、お申し込みください。参加費無料です。 <https://bit.ly/4hfnnvA3>

定員：会場260名、オンライン500名
問合せ先： info@plij.or.jp

※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断りいたします。



JKA Social Action
競輪とオートレースの補助事業

<https://www.jkacycle.jp/>



<http://keirin.jp/pc/top>

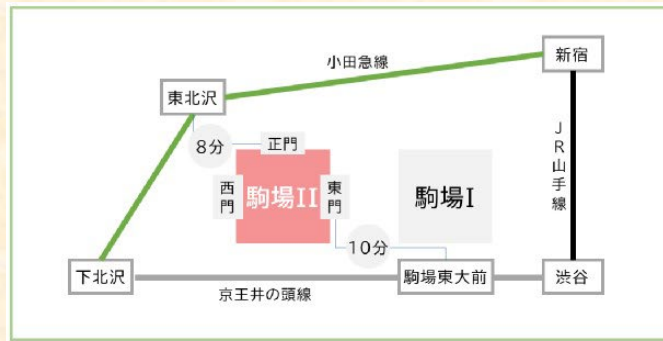
この事業は競輪の補助を受けています

会場案内

(東京都目黒区駒場4-6-1 駒場IIリサーチキャンパス内)

【ご注意下さい！】駒場東大前駅に隣接する駒場Iキャンパスではありません。

- ◆小田急線／東北沢駅より徒歩8分(各駅停車のみ)
- ◆京王井の頭線／駒場東大前駅(西口)より徒歩10分(各駅停車のみ)



駒場IIキャンパス



当日連絡先
03-5452-6621
(PLIJ事務局)

PLIJ事務局

会場
An棟 2階
コンベンションホール

第14回 STEAM人材育成研究会 PLIJ STEAM・探究受賞者報告会(パート2)

2025
4/24 Thu
木
15:00~17:00



3月17日にPLIJ STEAM・探究グランプリ及び特別賞の表彰を行いました。同日の報告会に続いてパート2として、受賞者から活動についての報告をいただきます。

受賞者の報告

【司会】年吉 洋 / 東京大学生産技術研究所長

- グランプリ**
- ◆ AFK研究所合同会社
 - ◆ 大分県教育委員会
 - ◆ 株式会社環境公害研究センター
 - ◆ TSKグループ基金 さんいん未来・縁人
地域・教育魅力化プラットフォーム
 - ◆ 東北大学「科学者の卵養成講座」運営委員会
 - ◆ 新潟県立中条高等学校
 - ◆ 兵庫県立兵庫高等学校

- 特別賞**
- ◆ NPO法人アスクネット
- ※3月17日に表彰された全受賞者12組のうち8組の受賞者の方にご報告いただきます。

主催 一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

表彰後援 内閣府 文部科学省 経済産業省 日本経済団体連合会 経済同友会 日本商工会議所

オンライン開催

お申込み方法

QRコード、または、下記URLから登録サイトに入ってください、お申し込みください。参加費無料です。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_LbHKAiaVQnCIIntKxA5EJMg

定員：オンライン500名

問合せ先：info@plij.or.jp

※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断りいたします。



JKA Social Action
競輪とオートレースの補助事業

<https://www.jka-cycle.jp/>

00 KEIRIN.JP
KEIRIN Official Website

<http://keirin.jp/pc/top>
この事業は競輪の補助を受けています

(参考)(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム概要

(PLIJ: Platform for Learning Innovation - Japan)

2021年9月にSTEAM教育(※)の普及・発展をミッションに設立された一般社団法人

(HP <https://plij.or.jp/>)

※Science, Technology, Engineering, Mathematics に Liberal Artsを加えた教科融合型、課題発見型の教育

STEAM教育を通じた探究力の育成を初等・中等教育段階から浸透させることを目的として、「社会総出」で学びに貢献することを目指している。PLIJの活動の主要なものは次のとおり。

- ① STEAMの学びに資する動画等のコンテンツのプラットフォーム運営
(現在約 1,000 件収納、PLIJ STEAM Learning Community <https://community.plij.or.jp/>)
- ② 学びの現場へ産業人・研究人材など(メンター)を派遣するためのマッチング
- ③ 産学官公教の交流を促すイベント開催(PLIJサマーキャンプ、女性活躍応援イベント、STEAM人材育成研究会など)

PLIJは会員によって支えられており、2025年3月1日現在、企業会員(正会員)40、高校、大学、国研、教育委員会など約430の特別会員と連携しつつ、上述のミッションの実現に取り組んでいます。

PLIJ STEAM Learning Community のトップ画面です。2023年4月に運用開始しましたコンテンツのライブラリーは現在1,000件を超える動画等が収納されており、生徒さんや教員の方々に視聴いただいています。Curatorや会員の皆様のご協力をいただき、質と量の両面での成長をめざしています。



2024年8月東京で2回目のサマーキャンプを開催しました。産学官公教の垣根を超えての交流は、参加者に思いがけない気づきや新しい発見があったはずです。

PLIJ役員

2024年11月7日現在

理事	理事長	浦嶋 将年	
	専務理事	田中 幸二	元株式会社日立製作所副社長
	理事	上田 博	住友化学株式会社代表取締役副社長執行役員
		江村 克己	福島国際研究教育機構理事
		梶原 ゆみ子	元富士通株式会社執行役員、総合科学技術・イノベーション会議議員
		島田 啓一郎	元ソニー株式会社執行役員
		田中 敏宏	大阪大学統括理事・副学長
		年吉 洋	東京大学生産技術研究所長
		中島 さち子	株式会社steAm代表取締役社長
		中西 淳二	(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム企画・管理部長
		野村 公郎	千代田区立九段中等教育学校統括校長
監事		吉田 裕明	元住友化学株式会社監査役

PLIJ正会員 (40社)

株式会社IHI	株式会社JTB	株式会社大和証券グループ本社	富士通株式会社
株式会社アシックス	株式会社島津製作所	東京電力ホールディングス株式会社	株式会社堀場製作所
株式会社INPEX	清水建設株式会社	株式会社東芝	丸善雄松堂株式会社
鹿島建設株式会社	住友化学株式会社	株式会社図書館流通センター	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社関電工	住友生命保険相互会社	株式会社ニコン	三菱ケミカル株式会社
KDDI株式会社	住友電気工業株式会社	日産自動車株式会社	三菱地所株式会社
三機工業株式会社	全日本空輸株式会社	日鉄エンジニアリング株式会社	三菱商事株式会社
JX金属株式会社	ソニーグループ株式会社	日本製鉄株式会社	三菱電機株式会社
JNC株式会社	太陽誘電株式会社	日本電気株式会社	森永製菓株式会社
JFEスチール株式会社	大日本印刷株式会社	株式会社日立製作所	吉本興業ホールディングス株式会社

PLIJ特別会員 (429)

中学・高校 243、高専・専門学校・大学 89、行政庁・国立研究開発法人・独立行政法人 16、自治体・教育委員会 42、博物館・科学館 34、支援団体 5



一般社団法人
学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

〒153-8505
東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内
[電話]03-5452-6621 [FAX]03-5452-6623